

に優しく放つオレンジ色の火を、皆さん魅入られるように見つめていました。



あつという間の3日目。人見知りする方がやっと慣れてきた頃に最終日を迎えてしまいました。

最終日は思い出の詰まったアルバム作りをしました。参加者一人につき10枚くらいの写真を、2日目に作った表紙に切ったり貼ったりして完成します。私はこのために3日間カメラマンに徹し、育成会から持参したプリンターで夜な夜なプリントアウトに勤しんだのでした。その甲斐あって(?)、皆さんスタッフと協力してとても素敵なオリジナルアルバムを作成されました。

昼食後に3日間お世話になった信太山青少年野外活動センターを出発し、往路と同じルートで天王寺駅まで無事帰還しました。事故なく、参加者もスタッフも全員笑顔で解散できたのが何よりです。

さて、今年で4回目となった本キャンプ行事ですが、当初は学齢期の方を対象としたものでした。初回は多くの方に参加していただいたのですが、回を重ねるごとに減り、今回は15名中わずか2名のみでした。

今後は、学齢期向けに行事募集案内を強化して多くの方に参加していただき、育成会の取り組みを知っていただけるように努めたいと思います。(事務局)



料理教室に参加して

東成育成園支部 中島 由紀子

9月2日(日)、クレオ大阪南の調理室で「料理教室」が開催されました。参加希望の多かった「くれよん料理教室」が、法人施設の栄養士さんのご協力・ご指導の下、

会員限定の新たなレクリエーション事業としてスタートです。

第1回目の教室を担当された東成育成園の管理栄養士の河野さんは、「今回のメニューは、少しでも楽しく料理に参加していただきたいと考え、メインを春巻きにして具材を巻く工程を楽しんでいただけたらと思いました。副菜などは中華メニューで、栄養のバランスとできるだけ簡単に作れるようにと組み合わせ、また、包丁が苦手な人も関わってもらえるような食材を取り入れたつもりです。」と、子供達が主体的に参加できるような献立作りをされました。

メニューは、春巻き・クラゲの酢の物・中華風かきたまスープ・ご飯・マンゴープリンという、野菜たっぷりの豪華な内容で、福島育成園の茶谷栄養士さんと港育成園の山見栄養士さんも手伝いに来て下さって、子供達の少々危なげな包丁に手を添えていただきました。

子供達が巻いた春巻きはちょっと太めでしたがパリッと美味しく揚がり、マンゴープリンも時間内に固まって、濃厚な味わいに大満足!休日のお昼を親子で楽しく過ごさせていただきました。お世話になりました。ありがとうございました。



事業所協議会学習会に参加して

西作業所 宮川 知也

8月25日(土)に社会福祉センターにおいて、「障害のある人の性とその周辺」をテーマに(社福)大阪手をつなぐ育成会「支援センターあまみ」の谷川所長をお招きして事業所協議会の学習会が開催されました。当日は12事業所より50名の支援スタッフの方の参加がありました。今回の講義では、様々な発見がありました。

私は日々障害を持った方と関わっていくなかで、このテーマについて、あまり深く考えたことはありませんでした。

今回の学習会に参加して、性教育が特別支援学校でも教育として取り組まれていることも初めて知り、同時に